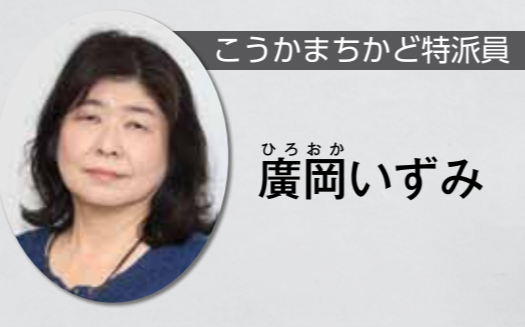


まちかど 特派員のページ



こうかまちかど特派員
ひろおか
廣岡いずみ



▲コーヒーはセルフサービス

みんなの気軽に集える場所になれば
代表の中島教芳さんによれば、「話の苦手な人も気軽に集まって過ごせる場と時間を大切にしたい」という思いから始められたとのこと。
カフェでは、コーヒー豆にはこだわって毎月違う種類が用意されるけれど、お湯はコーヒーマットが置いてあるのでセルフサービス。

広がる交流の輪
私が伺った日も、破竹が採れたから筍ご飯を炊いたとのことでご馳走になったり、農作業の途中で休憩に寄られた方が山椒の実を分けてくださったり、地元歴史に詳しい方に、お隣の長久寺道場のお堂に祀られている仏様の歴史についてお話を伺ったり、自然に交流の輪が広がって、心豊かなひと時を過ごすことができました。
コーヒー以外のメニューは、その週によりカレーや山菜の天ぷらなど、主に大久保付近で採れる食材により決まりますので、その

シェアカフェ

- 開催日 不定期月3回土曜日 9:00～12:00
- 場所 大久保教育集会所 甲賀市甲賀町大久保614-14
- 問い合わせ ゆる〜いボランティア組織 大久保まちづくり推進委員会 代表 中島教芳 ☎090-2595-5038 (中島)
- 駐車場 有

代表の中島教芳さん

気軽に集まれる場所『シェアカフェ』

今年4月から甲賀町の大久保教育集会所で『シェアカフェ』という取り組みがスタートしました。「わかち合い」という意味合いを持つ『シェアカフェ』は、集まった人々が、持っているものを自ら引き出し、わかち合い、向上させ、社会生活に反映できるための機会を提供する場とのこと。そんなスタートしたばかりのカフェを訪ねて、みなさんにお話を伺いました。

特に接客サービスがあるわけでもなく、各自が思うままにお喋りしたりくつろいだりして、ワンコイン(100円)を募金箱に入れて好きな時に帰る、というゆるいスタイル。

スタッフという位置づけも特になく、ご近所の方々も厚意でお手伝いされている、「きちんとした計画もあって立てない」というスタイルに、かえって新鮮な印象を受けました。

日のお楽しみですか「コーヒーのみという週末もあります。」

近所には、キノコ博士や西瓜には一言あるという方々もいらつらつとしゃべること、カフェでの交流をきっかけに、近くの里山へ散歩に連れて行ってもらえたり、成果物を見せてもらえるチャンスがあるかも知れません。



▲取材で訪れた日のメニュー

地域市民センター 東西南北



▲力を合わせての茶摘み
小学校の茶園で、児童と園児が茶摘み [朝宮地域市民センター]

朝宮小学校の茶園で、5月27日に朝宮小学校児童と朝宮保育園の園児あわせて40人が茶摘みをしました。総合的な学習時間「茶の花タイム」として、地場産業の直接体験と地域への愛着を深めることを目的に、茶摘みは毎年開催されています。PTA役員や、地元老人クラブのみなさんの指導を受けながら、児童が「一心二葉」の摘み方を優しく丁寧に、初めて体験する園児に教える場面もあり、世代間のつながりを感じる一日でした。

シルバー世代の学びと交流盛ん

「甲賀大原地域市民センター」

平成27年度シルバー大学開講式が160人の受講生参加のもと、5月15日かふか生涯学習館で行われました。
シルバー大学は市内に在住または通勤されている60歳以上の方が対象で、これから来年度2月までの間、書道、コース、料理、写真、パソコンなど希望するクラブに分かれて受講されます。学ぶ楽しさだけでなく、交流の喜びも分かち合い、いきいきと暮らしていただくことを目的としています。
また、学びの成果は文化祭や各地の行事で発表されるなど、シルバー大学を通じて、人と人のつながりが学区や地域を越えて広がっています。



▲オリエンテーションに臨む受講生のみなさん

田植え体験といきものみつけ2015 [山内地域市民センター]

5月5日の子どもの日。市内外から60人の参加者を迎え、いきものみつけファーム滋賀主催の寺子屋が開催されました。

県下でも珍しいと言われる多様な生き物の生息する田んぼで、滋賀大学生の指導を受けながら、いきもの探し。小さな子どもや親たちは興味津々でした。

そして、待ちに待った田植え体験。田んぼの端に一列に並び、笛と同時に目印の縄をスタッフが移動させますが、ぬかるむ足、尻もち、泥の感触にびっくりする子ども、奮闘するお父さんたちが、自由な形で田植え体験となりました。作業後、泥だらけになった体を近くの水路で洗い、心地よい疲労を背に終了となりました。



▲目印を見ながら、田植えする親子

信楽焼と甲賀の茶でおもてなし
「希望ヶ丘地域市民センター」
希望ヶ丘学区自治振興会希望ヶ丘分会では、今年3月に施行された「甲賀市甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例(通称「おもてなし条例」)を活用し、住民交流行事や定期総会、また役員会でも信楽焼の茶碗と土瓶で朝宮茶や土山茶をふるまっています。
茶葉から淹れたお茶は香りが良く、また器も独特の手触りがあり、参加された皆さんに大変喜んでいただきました。
今後も、全ての行事や会議などで積極的に活用していく予定です。



▼定期総会でも「おもてなし」